



日本防災士会福井県支部

福井県防災士会会報

第2号

2008.7.31

講演会「地球環境と防災」を開催

7月5日(土)13時より、福井県防災士会設立記念・さばえ環境リーダー養成講座のジョイント講演会「地球環境と防災」を、鯖江市環境教育支援センターとの共催で、福井市の県生活学習館で開催した。

NPO防災情報機構会長の伊藤和明さんが「地球環境と防災」をテーマに、近年頻発する自然災害の背景に地球温暖化があることを解説した。1900～2000年の間に、日本の気温の平年差が1度、世界では0.74度上昇し、ICPPの予測では、21世紀末までに、1980～90年と比べて世界の平均気温が1.1～6.4度上がるということなどをデータを示して話した。温暖化のために異常気象の多発、台風・ハリケーンの強大化などが起き、防災上の問題となることから、温暖化が進むものとして21世紀の防災対策を考えなければならないことを指摘する一方、地球を守ることは人類を守ることであり、温暖化対策の大切さを訴えた。

防災情報新聞編集長の橋本茂さんは「安全・安心な環境づくりと防災」のテーマで、特に社会的環境に重点を置いて話した。近年の大きな地震は予測されていないところから起きていることから、日本に安全なところは無いとして、被害を未然に防止する「防災」と、被害拡大や二次災害を防止する「減災」が重要であると話した。それには地域防災力の向上が必要で、阪神淡路大震災時に生存救出者の大半が近所の人などに助けられていたことを例に挙げて説明された。また火事が拡大しないように初期消火に取り組まなければならないと強調した。「安心、安全な環境づくりには、他者依存ではなく、自助・共助による『防災・防犯・福祉』の協働社会を作っていくことが必要」と強く訴えた。

※講演会の要旨は福井県防災士会HPに掲載



伊藤和明氏(左)と橋本茂氏(右)

福井ぼうさいの仲間 #01

氏名 荒木俊幸(あらかしゆき)(58歳)

職業・勤務先

福井高専・環境都市系技術職員

防災士になるきっかけは?

本来防災・減災に関わりの深い仕事分野で、TVでその存在を知ったことが直接のきっかけです。

防災士になってよかった事と思うことは?

今までとは違った方面の方々を知り合うことができたこと。それに伴ってものごとの見方にも幅が広がったこと。

防災士として、今後取り組んでみたいことは?

一人ひとりの人となりも違うので、いま関わり始めた方々の中で自分自身の役回りや持ち分は何かと探りつつ進んでいきたいと考えています。会として半年後・一年後に何らかの成果をえられるような下支えがその役回り・持ち分のように今は考えています。

防災士以外であなたの「得意なこと」や「日頃がんばっていること」は?

頑張るという言葉・言い方が好きではなく、MUST(しなければならない)思考でなく、MAY(できればいいな)思考でものごとができること、これが得意なことです。

“福井震災 60 年” 災害救援活動訓練に参加！

6月28日（土）午前中に、NPO 法人日本災害救援飛行協会が主催した「空飛ぶ災害救助犬」に、福井県防災士会より6名が参加した。地震による広域災害を想定し、関係機関との協働体制を構築することを目的に訓練が行われた。訓練内容は以下の通りであった。

- ①富山空港で待機する災害救助犬をセスナ機で福井空港へ搬送（写真左）
- ②救助要請（発煙筒で場所を知らせる）（写真中）
- ③災害救助犬による行方不明者の搜索
- ④車内に閉じ込められた負傷者の救助と心肺蘇生法と AED の実技訓練（写真右）



今回の訓練には富山県の NPO 法人災害救助犬ネットワーク、自動車関係者、病院関係者も参加した。富山県防災士会より1名参加された。救援訓練終了後の全体反省会で荒木会長より福井県防災士会についての紹介等挨拶があった。

県・鯖江市・越前市を訪問

7月23日（木）14時より、福井県防災士会より会長以下3名が福井県安全環境部危機対策・防災課を訪問し、県災害対策本部が置かれる会議室等の説明を受けた。同課では、約20名の職員が地震・洪水等の自然災害だけでなく、ガソリンの値上げ対策も含めた県内の危機管理全般に対応している。

7月29日（火）には鯖江市の防災担当部局と、8月6日（水）には越前市の防災担当部局と意見交換を行う予定になっている。

福井県防災士会の今後の予定

日程	対象	概要
8月24日（日） 7:30～（予定）	鯖江市 豊地区	「災害と備え」（仮称）（講師：荒木）
8月25日（月） 19:00～（予定）	勝山市	「地域で守る」～災害時要援護者～（講師：荒木）
8月31日（日） 13:00～（予定）	会員 於高専	「研修のつくり方—その2—」（講師：荒木）
8月31日（日） 15:00～（予定）	会員 於高専	「ハザードマップの読み方・作り方」（講師：四方）
9月7日（日） 午前中（予定）	福井県 於365スキー場	福井県総合防災訓練（防災士会として参加予定）

※希望者は事前に事務局まで連絡ください。

編集後記

35度程の暑い日が続き熱中症になりそうだと思っていると、一旦雨が降ると集中豪雨になり、浸水に注意しなくてはとなります。私達は日々、自然に振り回されているのでしょうか？しかし、この状況を作ったのは我々人間であることを、今回の記念講演で教えていただきました。地球温暖化の問題に、私も身近な所から取り組みます。（下畑）

県内の会員数

（2008年7月31日現在）

福井県防災士会	046名
日本防災士会	042名
防災士	253名

編集担当 福井県防災士会 広報・啓発担当

住所 〒916-8507 福井県鯖江市下司町

福井高専環境都市工学科内

Eメール bousaisi@fukui-nct.ac.jp

Webサイト <http://toshichan.be.fukui-nct.ac.jp/bousaisi/>